健康経営の推進について





「健康経営」とは，“従業員の健康増進の取組みは，将来的に企業の収益性を高める「投資」である” との考えのもと，従業員の健康管理を経営的視点から考え，戦略的に実践することです。
「健康経営」の推進により，従業員の活力向上や生産性向上等の組織活性化をもたらし、結果的に業績向上・企業価値向上へ繋がることが期待されます。

東 北 電 力 株 式 会 社
ビジネスサポート本部人財部
２ ０ ２ ３ 年 ８ 月

Ⅰ．健康経営を推進する背景

Ⅱ．健康経営推進に向けた取組み

Ⅲ．従業員のみなさんへのお願い

Ⅰ－１．日頃における健康管理の取組み

- 東北電力（TD）・東北電力ネットワーク（TN）従業員の健康管理にあたっては，保健師・看護師等の資格を有する健康推進スタッフ，産業医や精神健康管理医等を全店で　１０か所の健康推進センターに配置し，法定の健康診断やストレスチェックに加えて，全従業員との面談，保健指導や各種セミナーに取り組み，きめ細やかなケアを実施しております。
- あわせて，東北電力健康保険組合においても，法定の特定保健指導や，人間ドック等への独自の補助，健康に関する情報提供等を展開しております。



健康推進スタッフによる
全従業員対象の面談

産業医による面談



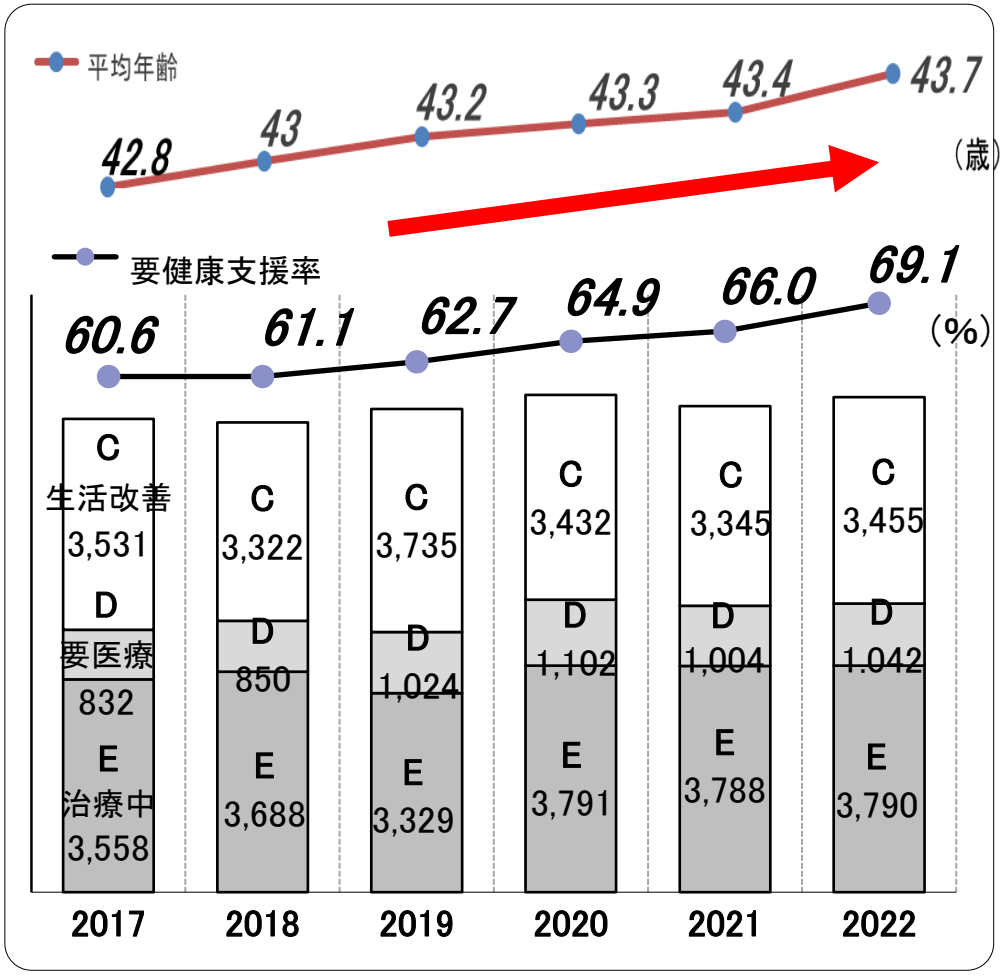


新入社員を対象とした
栄養セミナー

Ⅰ－２．従業員のカラダの健康状況

- しかし，至近では，従業員の平均年齢上昇もあり，要健康支援率が上昇傾向です。
- とりわけ，運動不足と過量飲酒等により，血糖や血圧，肝機能などの生活習慣病リスクが上昇しております。

TD・TNの要健康支援率の推移



健康スコアリングレポート

TD

リスク	良好 ← 中央値と同程度 → 不良				
肥満リスク		●			
血圧リスク			●		
肝機能リスク				●	
脂質リスク			●		
血糖リスク					●

TN

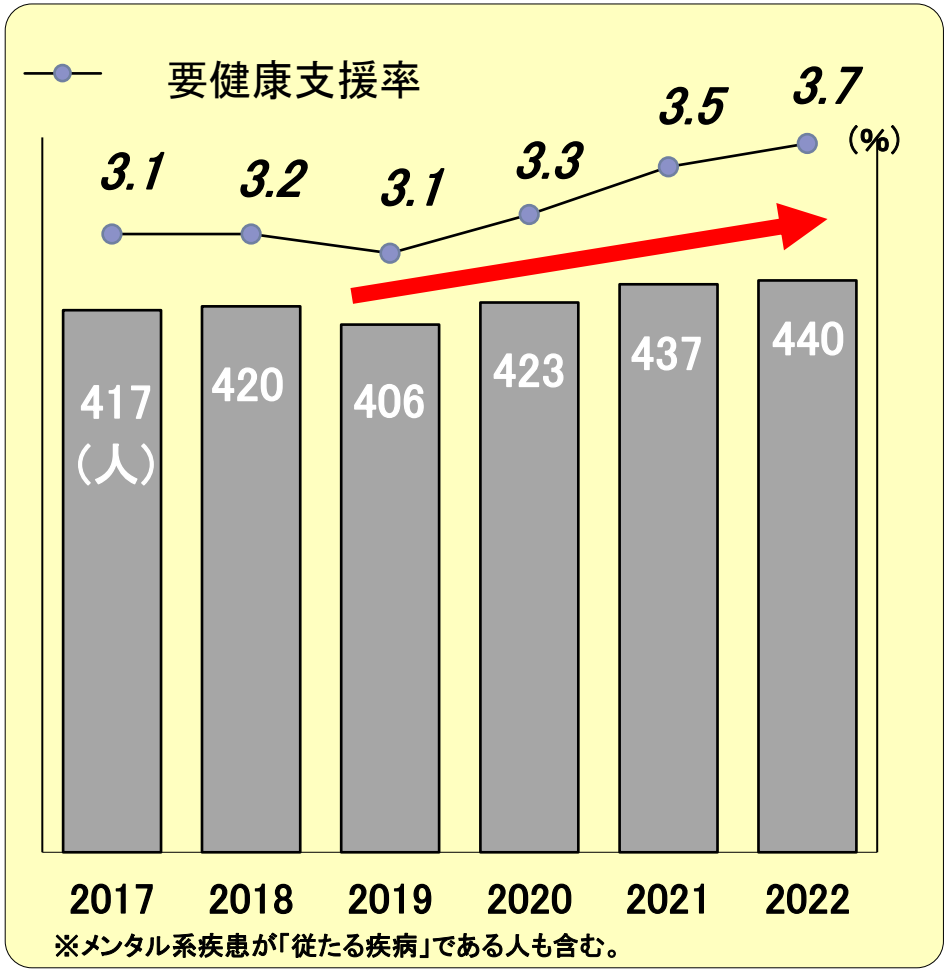
リスク	良好 ← 中央値と同程度 → 不良				
肥満リスク			●		
血圧リスク				●	
肝機能リスク					●
脂質リスク				●	
血糖リスク				●	

「健康スコアリングレポート」
厚労省・経産省等によるレポートで健保加入者の健康状態や医療費等について，全健保組合平均や業態平均との比較をしたもの。（40歳以上のデータ）

Ⅰ－３．従業員のココロの健康状況

- メンタル系の要健康支援者も上昇傾向です。
- 加えて，ストレスチェックにおける高ストレス者率は，ここ３年間で最も高い状況であり，全店的にメンタルヘルス対策の強化が必要な状況です。

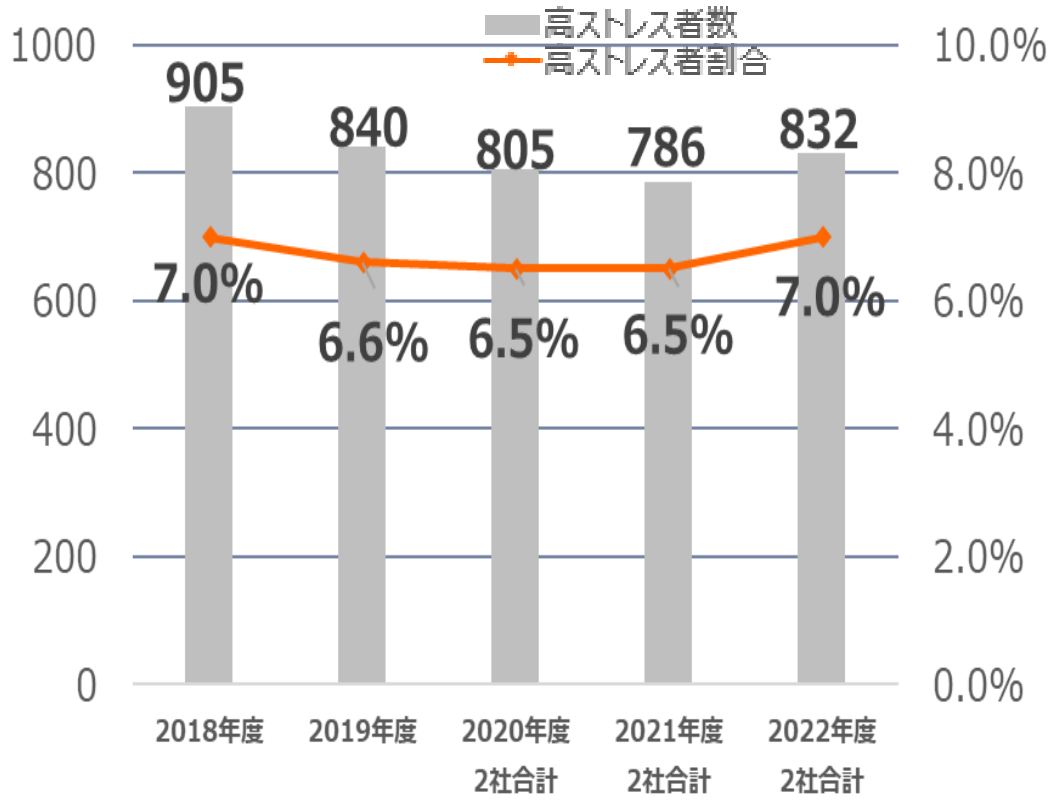
TD･TNのメンタル要健康支援率の推移



※メンタル系疾患が「従たる疾病」である人も含む。

高ストレス者の推移（ストレスチェック結果）

・2022年9月に実施したストレスチェック結果では，TD･TN2社の高ストレス者率は7.0%で，分社後で最も高い状況。（全国平均10%は下回る状況）



Ⅰ－４．社会情勢を踏まえた健康経営の取組み

- 世の中では，サステナビリティの一環として，DE&I（多様性確保）や人権尊重等とともに，「健康経営」がクローズアップされています。
- 「健康経営」は，従業員の健康増進に加えて，ワークエンゲージメントや生産性向上，リクルート効果による優秀な人材の確保，機関投資家の評価や企業イメージ向上に大きく寄与し，多くの大企業が注力しています。
- ついては，従業員の健康増進に向けた更なる打ち手として，「健康経営」を推進することといたします。

現　状

- 要健康支援率の上昇
- メンタル系要健康支援者の増加

- 社会的な健康経営推進の流れ

健康経営を推進

・社員の健康増進
・ワークエンゲージメントの向上

※ ワークエンゲージメント
従業員が仕事に対してポジティブな感情を持ち、充実している状態

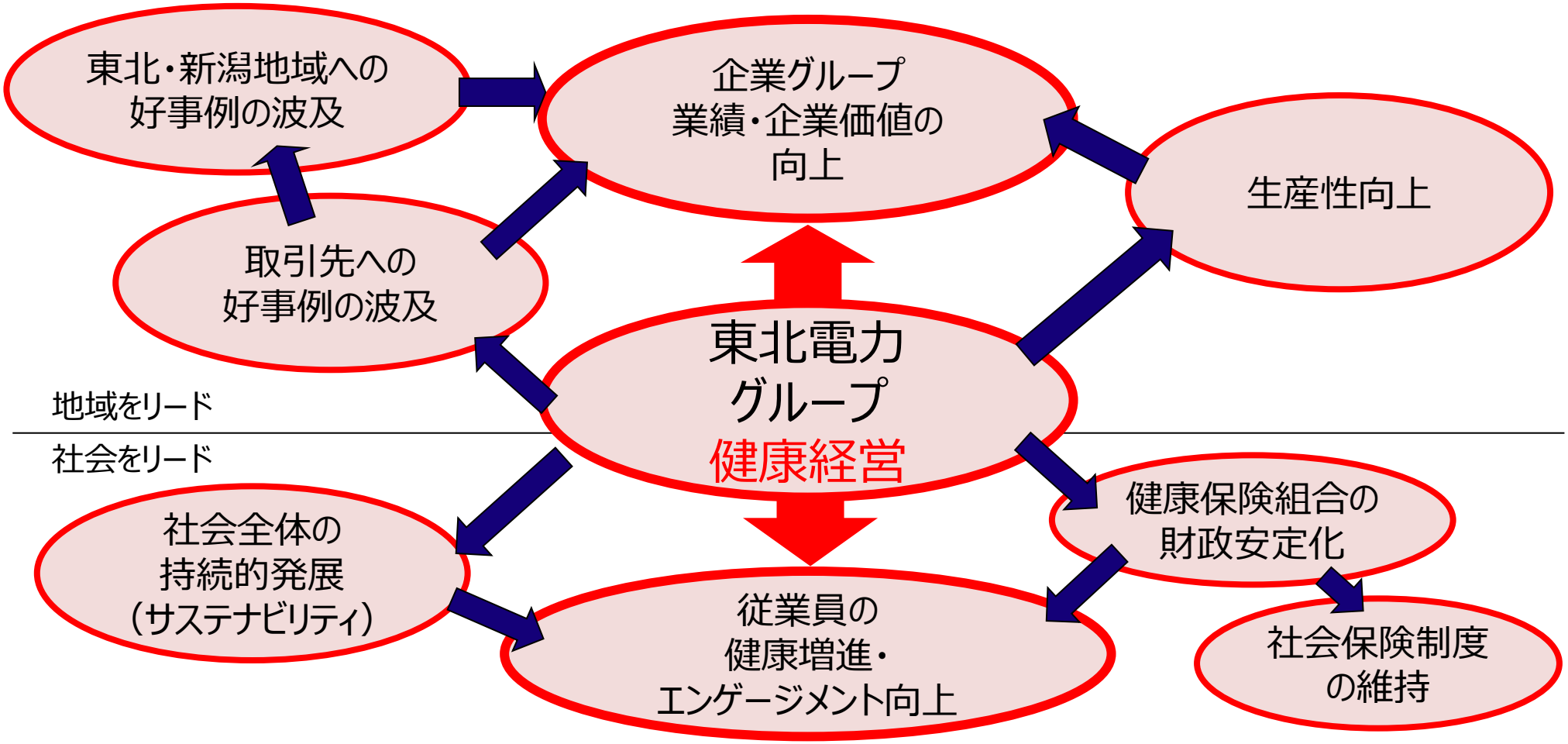
- 生産性向上
- 優秀な人材の確保
- 機関投資家の評価向上
- 企業イメージの向上
- 取引先・地域社会への貢献

従業員一人ひとりが健康でイキイキと働く元気な会社へ

Ⅰ－５．当社における健康経営推進の意義（まとめ）

- 健康経営の推進により，従業員の健康増進・エンゲージメントの向上に始まり，生産性・企業価値の向上，健康保険組合の財政安定化，取引先・地域社会に対する好影響の波及，そして社会全体のサステナビリティに貢献していくことを期待しております。

健康経営の推進により　地域・社会をリードしていく「東北電力グループ　健康経営」



Ⅰ．健康経営を推進する背景

Ⅱ．健康経営推進に向けた取組み

Ⅲ．従業員のみなさんへのお願い

Ⅱ－１．東北電力グループ健康経営宣言の策定

➢ 東北電力グループが「健康経営」を推進する意義・目的を従業員や社外のステークホルダーに理解いただくため，2023年7月1日に，社外のステークホルダーに向けた「健康経営の推進（考え方）」と，従業員に向けた「健康経営宣言」を策定し，当社ＨＰに公表しました。

東北電力グループ 「健康経営®の推進（考え方）」

私たち東北電力グループは、「健康と安全は何事にも優先する」という考え方のもと、「従業員一人ひとりが健康でイキイキと働く元気な会社」を目指して、健康保険組合と緊密に連携（コラボヘルス）し、「こころ」と「からだ」両面にわたる健康づくりに取り組むなど、健康経営をさらに推進していきます。

健康経営の推進は、「人的資本経営」「ウェルビーイング」の土台をなすものであり、従業員の活力と生産性の向上、組織の活性化につながり、ひいては東北電力グループの企業価値向上と地域社会の持続的発展に貢献するものと考えます。

東北電力グループの経営理念である「地域社会との共栄」を体現していくため、従業員一人ひとりの健康を大きな原動力として、グループスローガン「より、そう、ちから。」のもと、お客さま、地域の皆さま、株主や取引先などのステークホルダーの期待に的確に応え、自らの成長と持続可能で豊かな社会の実現を目指してまいります。

※ 健康経営®はNPO健康経営研究会の登録商標
※ 産業保健職：健康推進スタッフ，産業医，心理士等の総称

東北電力グループ 「健康経営宣言」

東北電力グループ従業員の皆さんへ

私たち東北電力グループがお客さまや地域によりそい、挑戦と変革をしつづけることで、グループならではの価値を創造し、豊かな社会と自らの成長を実現するためには、従業員一人ひとりが心身ともに健康であることが大切であると考えています。

従業員の皆さんには、ぜひ、自らの健康を財産ととらえ、健康診断の結果を受け止め、食事、運動、睡眠、喫煙、飲酒など生活習慣に気を付け、心身ともにいつまでも健康で働き、ウェルビーイングの向上に取り組んでいただきたいと考えています。

そのために、東北電力グループは、従業員の健康維持・増進を「経営課題」と位置づけ、健康意識（ヘルスリテラシー）の向上を図るため、産業保健職の協力のもと、健康保険組合と連携し健康施策を充実していきます。

ぜひ、一緒に「従業員一人ひとりが健康でイキイキと働く元気な会社」を目指していきましょう。

2023年7月1日　東北電力株式会社
取締役社長　社長執行役員
樋口　康二郎

Ⅱ－２．経営層が関与する健康経営推進体制の構築

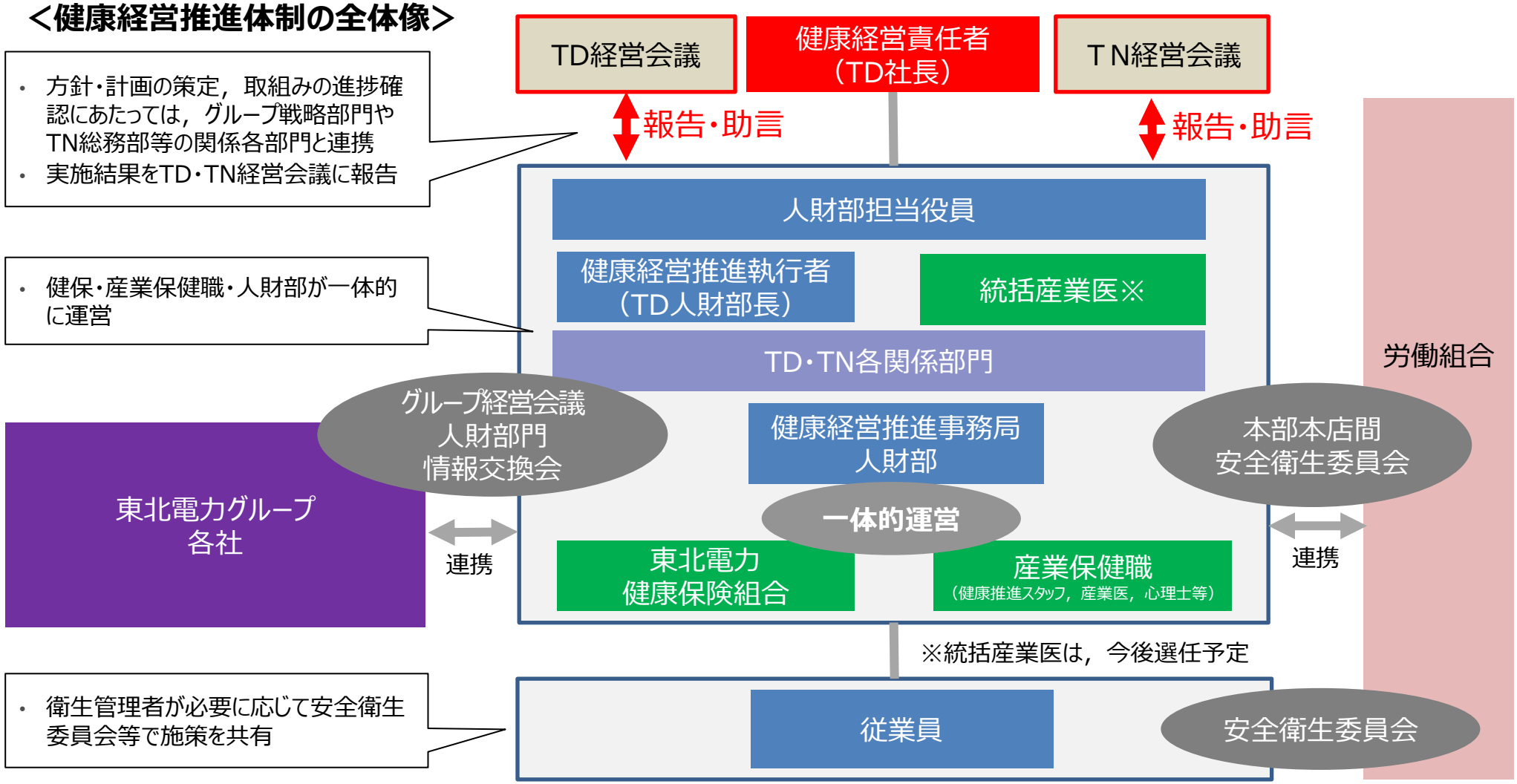
- 健康経営を強力に推進するには，「従業員の健康増進」に対して，経営層の関与が不可欠です。
- ついては，ＴＤ社長を健康経営責任者として，人財部・健康推進センター，産業医等の関係個所が一体となった体制を構築し，健康保険組合および労働組合と連携を図り，健康経営を推進します。

＜健康経営推進体制の全体像＞

- 方針・計画の策定，取組みの進捗確認にあたっては，グループ戦略部門やTN総務部等の関係各部門と連携
- 実施結果をTD・TN経営会議に報告

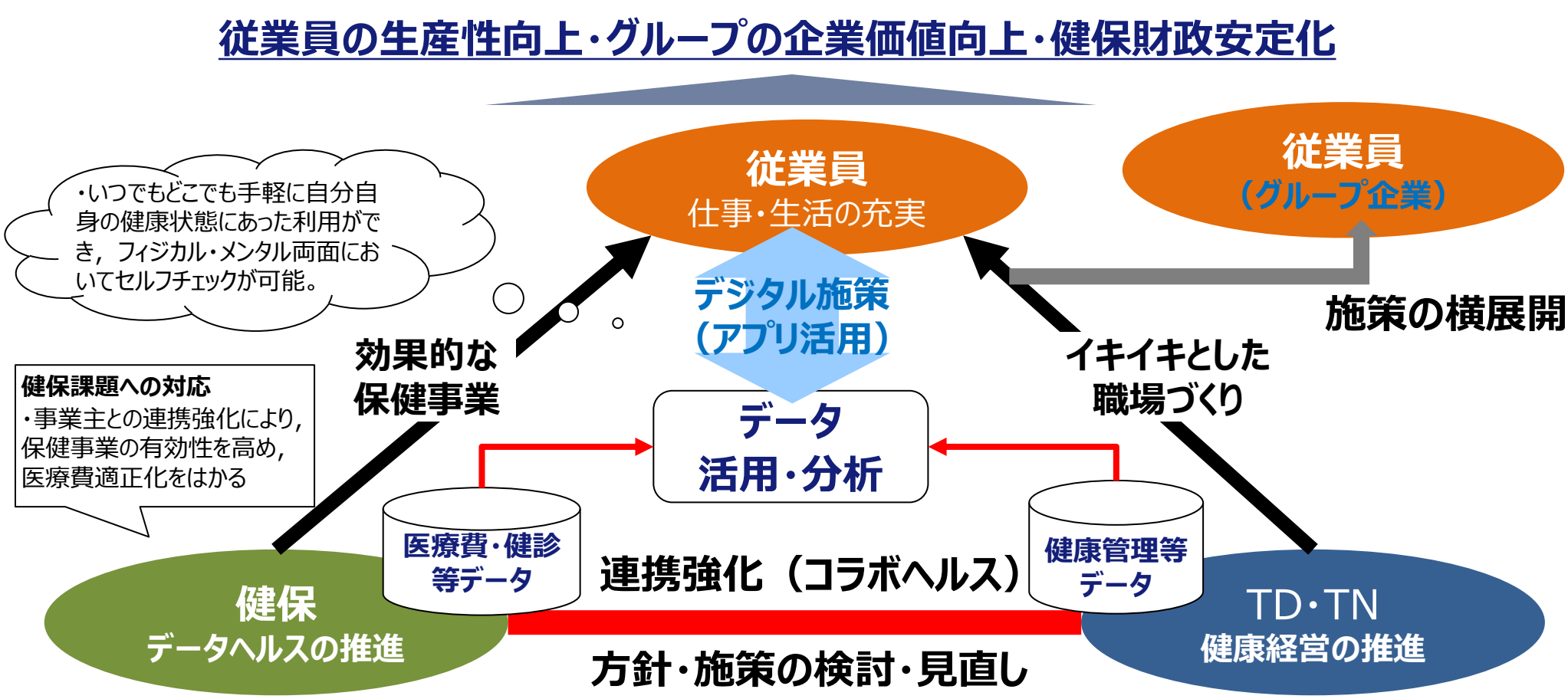
- 健保・産業保健職・人財部が一体的に運営

- 衛生管理者が必要に応じて安全衛生委員会等で施策を共有



Ⅱ－３．健康保険組合との連携強化（コラボヘルス）

- 従業員の健康増進に向けて，会社と健康保険組合が連携することを「コラボヘルス」と言います。
- 従業員の健康増進を目指し，TD・TNと健康保険組合が，お互いに保有するデータを活用・分析し，健康増進施策の実効性を高めてまいります。
- デジタル化や健康増進施策の拡充等のアプローチの多様化により，従業員は自身の関心や，健康リスクにあった心身の健康増進を行うことが可能となり，健康寿命延伸や重症化予防が期待できます。



Ⅱ－４．コラボヘルスの新たな取組み（健康増進アプリ導入）

- コラボヘルスの一環として，9月１日より健康増進アプリ「QOLism（キュオリズム）」を導入します。
- これは，健康診断結果の確認に加えて，ウォーキングや食事記録，こころのセルフケアなど，多様なコンテンツを利用できる多機能な健康増進アプリです。

デジタル活用

アプリイメージは第一生命提供

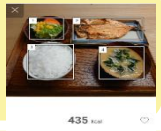


施策と連動

健康診断の結果を
アプリでいつでも確認可能



食事画像判別AIを使った
食事記録・栄養計算



ウォーキングイベント
個人戦・チーム戦



声で5つの感情を分析
こころのセルフケア



パーソナライズ化された
エクササイズ動画



質問に答えるだけで
無理のない目標・計画を作成



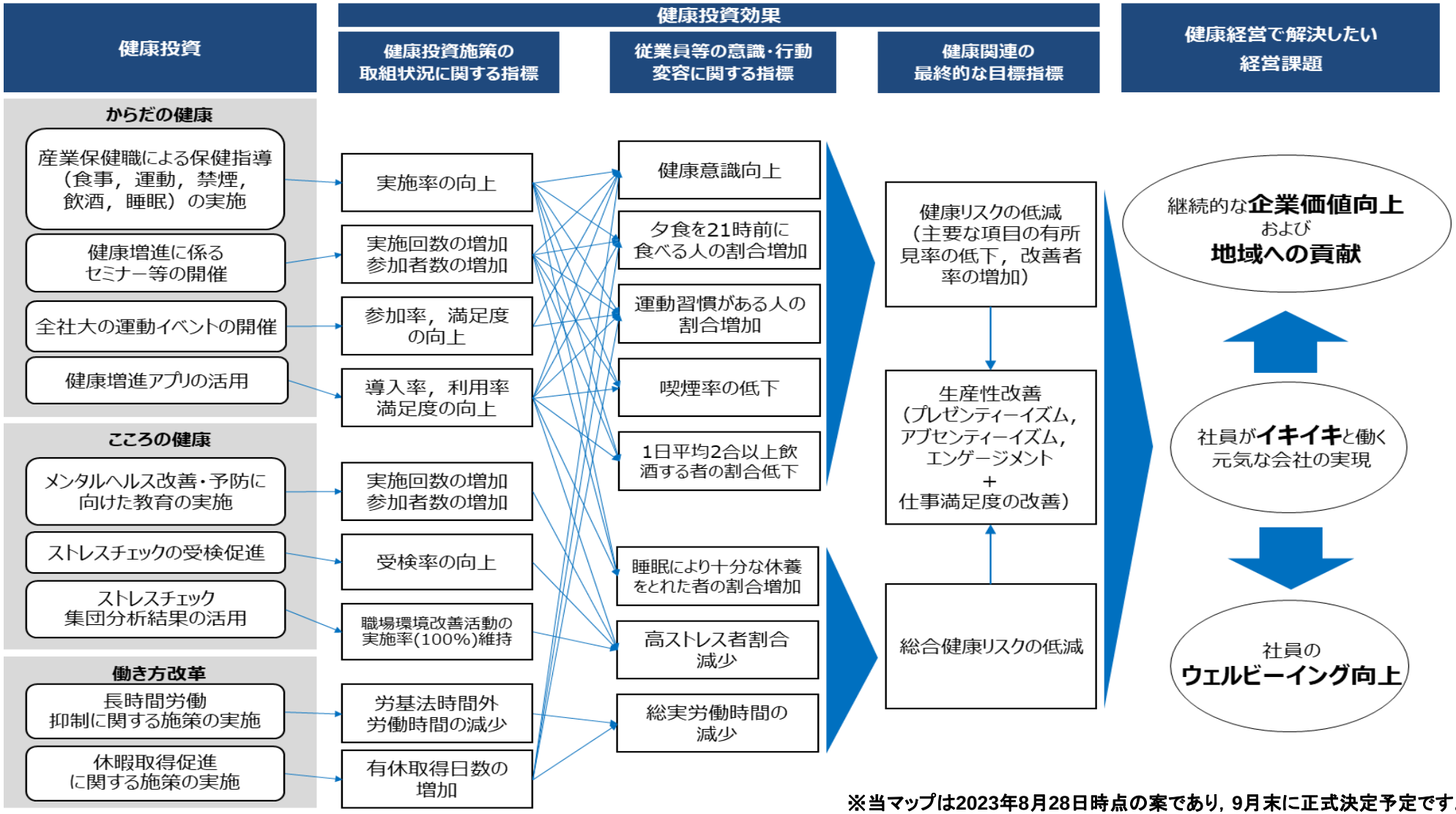
施策の展開

- **各種保健指導・予防策**
- **産業保健職面談**
  （健康推進スタッフ・産業医・心理士）
- **特定保健指導**
- **メンタルヘルス対策**
  ・セルフケア，ラインケアに関する教育コンテンツの充実や復職支援に向けた取り組みに活用。
  ・メンタルヘルスの予防施策としてデジタルを活用したセミナー，施策によるセルフケアの拡充やイベントによるコミュニケーションの活性化を図る。

施策に反映

Ⅱ－５．健康経営戦略マップの策定

- 「健康経営」は中長期の取組みとなるため，ロードマップ（健康経営戦略マップ）を策定し，この戦略マップに基づき，具体的な健康施策を展開してまいります。
- また，健康施策の実効性を検証するため，「指標」に基づく定量的評価を実施します。



※当マップは2023年8月28日時点の案であり，9月末に正式決定予定です。

Ⅰ．健康経営を推進する背景

Ⅱ．健康経営推進に向けた取組み

Ⅲ．従業員のみなさんへのお願い

Ⅲ－1. 健康増進アプリ導入のオススメ

- 健康経営の推進に向けて，人財部・健康推進スタッフや産業医および健康保険組合が連携し，魅力的な健康施策の展開に努めてまいります。
- あわせて，従業員のみなさん一人ひとりが，自己の健康増進意識を高めることが不可欠です　（自分のカラダとココロは自分で守る！）。
- 第一歩として，健康増進アプリ「QOLism（キュオリズム）」をインストールいただき，積極的な活用をお願いします。
- あわせて，１０月開催のウォーキングイベントについて，職場全体でお声がけいただきましてふるってご参加ください。

QOLism　新規登録動画はコチラをクリック





Ⅲ－２．健康増進アプリにおけるポイント付与

- 健康増進アプリ「QOLism（キュオリズム）」においては，従来の「マイヘルスウェブ」同様，健康増進の取組みに応じてポイントを付与します。まずは初回登録でポイントを取得しましょう。
- 健康増進施策「ウォーキングイベント」で目標歩数を達成した場合はさらにポイント付与がありますので，奮ってご参加ください。

	2023年度							2024年度		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	・・・	9月
マイヘルスウェブポイント (My Health Web)	従来どおりのポイント付与期間							ポイント失効 2024年 9月30日		
キュオリズムポイント (QOLismアプリ) 新登場♪	初回登録ポイント 300ポイント（１回限り）									
	上乗せ 200ポイント							・歩数ポイント ・食事記録ポイント など		
	9月・10月限定上乗せポイント(1回限り)									
ウォーキングイベント (QOLismアプリ)	10月ウォーキングイベント開催 ポイント獲得で電子クーポン等に交換しよう！									

期間：10月1日～10月31日　エントリー期間：9月17日～

目標達成賞：①イベント参加+1日平均歩数6,000歩以上達成⇒1,000ポイント付与
②イベント参加+1日平均歩数8,000歩以上達成⇒2,000ポイント付与
※8,000歩以上達成した方は，①+②の合計3,000ポイント付与